

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第3区分

【発行日】平成29年12月21日(2017.12.21)

【公表番号】特表2017-523683(P2017-523683A)

【公表日】平成29年8月17日(2017.8.17)

【年通号数】公開・登録公報2017-031

【出願番号】特願2016-573810(P2016-573810)

【国際特許分類】

H 04 N 19/70 (2014.01)

H 04 N 19/30 (2014.01)

【F I】

H 04 N 19/70

H 04 N 19/30

【手続補正書】

【提出日】平成29年11月7日(2017.11.7)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

ビデオデータの複数のレイヤを有するビットストリームを符号化するための方法であって、ビデオデータの前記複数のレイヤはベースレイヤを含み、前記方法は、

前記ビットストリーム内に、複数の出力レイヤセット(OLS)を示す1つまたは複数のシンタックス要素を生成することと、各OLSは前記複数のレイヤのうちの1つまたは複数のレイヤを有し、前記1つまたは複数のシンタックス要素は、前記複数のOLSの各OLSについてのプロファイル、ティア、およびレベル(PTL)情報をさらに示し、

ビデオパラメータセット(VPS)中に前記1つまたは複数のシンタックス要素を含む前記複数のレイヤを符号化することと、

を備える、方法。

【請求項2】

前記VPSは第0のOLSについてのPTL情報を示す、請求項1に記載の方法。

【請求項3】

前記第0のOLSについての前記PTL情報は、前記VPSのVPS拡張部分中に含まれる、請求項2に記載の方法。

【請求項4】

ビデオデータの複数のレイヤを有するビットストリームを符号化するためのデバイスであって、ビデオデータの前記複数のレイヤはベースレイヤを含み、前記デバイスは、

ビデオデータの前記複数のレイヤを記憶するように構成されたメモリと、

前記メモリに動作可能に結合され、

前記ビットストリーム内に、複数の出力レイヤセット(OLS)を示す1つまたは複数のシンタックス要素を生成することと、各OLSは前記複数のレイヤのうちの1つまたは複数のレイヤを有し、前記1つまたは複数のシンタックス要素は、前記複数のOLSの各OLSについてのプロファイル、ティア、およびレベル(PTL)情報をさらに示し、

ビデオパラメータセット(VPS)中に前記1つまたは複数のシンタックス要素を含む前記複数のレイヤを符号化することと、

を行うように構成された少なくとも1つのプロセッサと、

を備える、デバイス。

#### 【請求項 5】

前記少なくとも1つのプロセッサは、前記VPS中に第0のOLSについてのPTL情報を示すようにさらに構成された、請求項4に記載のデバイス。

#### 【請求項 6】

前記少なくとも1つのプロセッサは、前記VPSのVPS拡張部分中に前記第0のOLSについての前記PTL情報を示すようにさらに構成された、請求項5に記載のデバイス。

#### 【請求項 7】

ビデオデータを復号するための方法であって、

ビデオデータの複数のレイヤを有するビットストリームを受信することと、ビデオデータの前記複数のレイヤはベースレイヤとビデオパラメータセット(VPS)とを含み、前記VPSは、複数の出力レイヤセット(OLS)と、前記複数のOLSの各OLSについてのプロファイル、ティア、およびレベル(PTL)情報を示し、

前記1つまたは複数のレイヤから1つのOLSをターゲットOLSとして選択すること、

前記VPS中でシグナリングされるPTL情報に基づいて、前記ターゲットOLSを復号することと、

を備える、方法。

#### 【請求項 8】

前記ターゲットOLSは第0のOLSであり、前記VPSは前記第0のOLSについてのPTL情報を含む、請求項7に記載の方法。

#### 【請求項 9】

前記第0のOLSについての前記PTL情報は、前記VPSのVPS拡張中に含まれる、請求項8に記載の方法。

#### 【請求項 10】

ビデオデータを復号するためのデバイスであって、

ビデオデータの複数のレイヤを有するビットストリームを記憶するように構成されたメモリと、ビデオデータの前記複数のレイヤはベースレイヤとビデオパラメータセット(VPS)とを含み、前記VPSは、複数の出力レイヤセット(OLS)と、前記複数のOLSの各OLSについてのプロファイル、ティア、およびレベル(PTL)情報を示し、前記メモリに動作可能に結合され、

前記1つまたは複数のレイヤから1つのOLSをターゲットOLSとして選択することと、

前記VPS中でシグナリングされるPTL情報に基づいて、前記ターゲットOLSを復号することと、

を行うように構成された少なくとも1つのプロセッサと、

を備える、デバイス。

#### 【請求項 11】

前記ターゲットOLSは第0のOLSであり、前記VPSは前記第0のOLSについてのPTL情報を含む、請求項10に記載のデバイス。

#### 【請求項 12】

前記第0のOLSについての前記PTL情報は、前記VPSのVPS拡張中に含まれる、請求項11に記載のデバイス。